

ごみ処理基本計画の進行管理(令和2年度実績)(案)

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

— 未来へつなぐ“循環型都市よこすか”の創造 —

資源循環部 資源循環政策課

令和3年12月

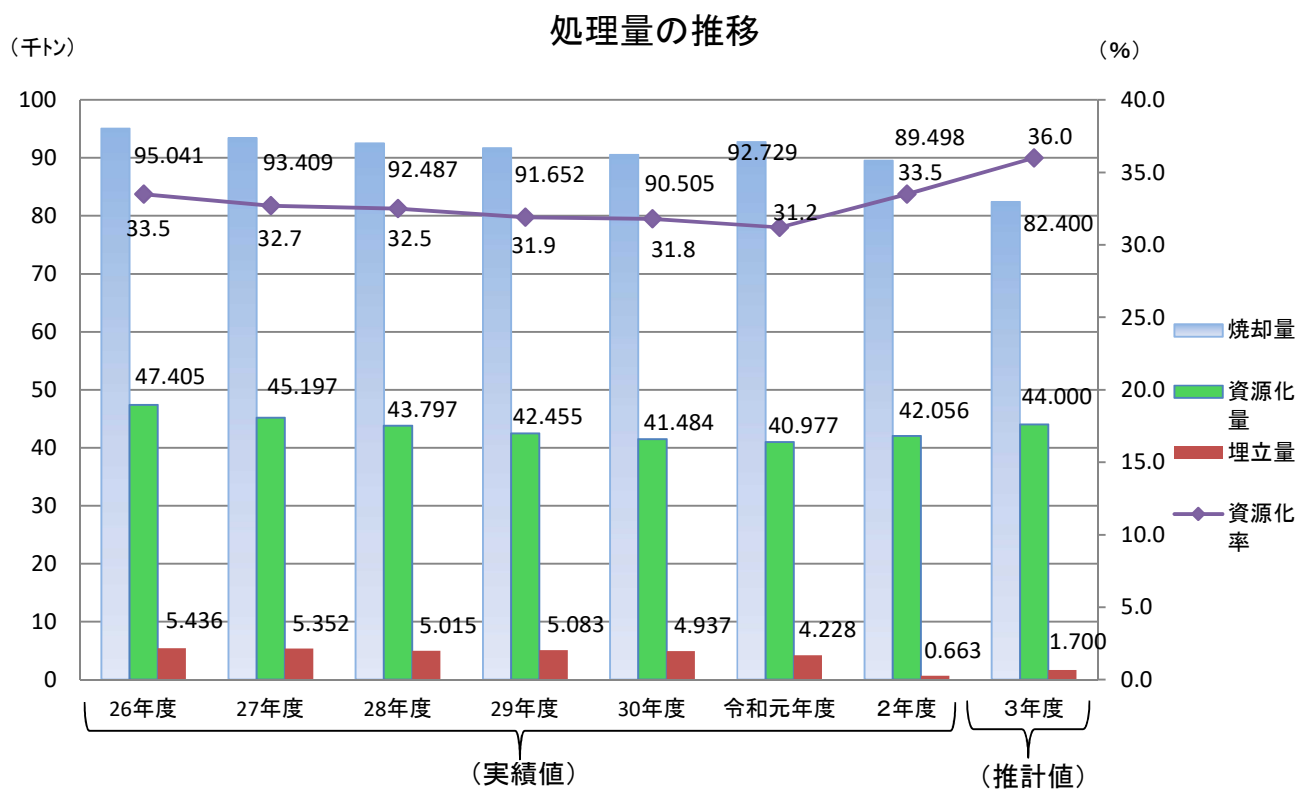
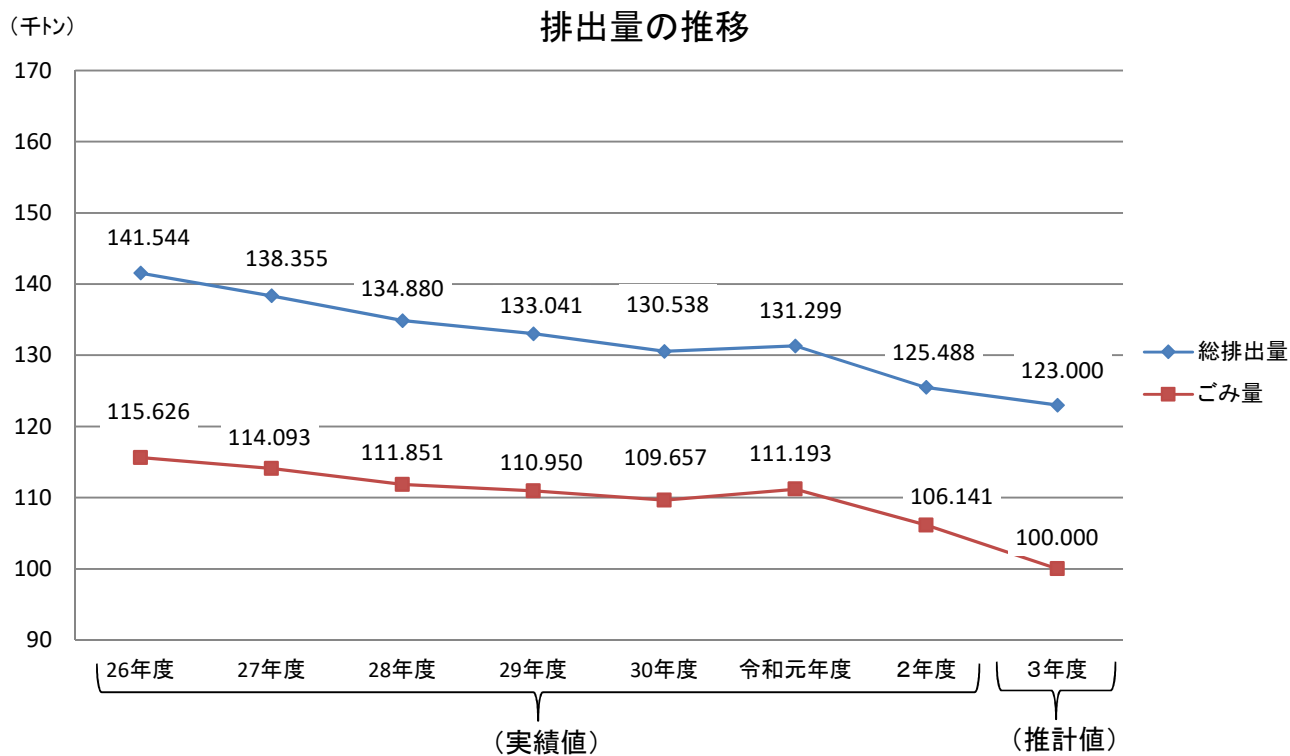


ごみ処理基本計画の評価指標および実績値・目標値

項 目		単 位	平成27年度 (基準年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標年度)	
循環型 社会 形成	排出量	総排出量	t/年	138,355	130,538	131,299	125,488	123,000
		ごみ量	t/年	114,093	109,657	111,193	106,141	100,000
		集団資源回収量	t/年	24,262	20,881	20,106	19,347	23,000
		1人1日排出量 <sup>注1)</sup>	g/人・日	750	740	758	731	695
		1人1日総排出量 <sup>注1)</sup> (集団回収を含む)	g/人・日	910	881	895	864	855
	処理量	焼却量 (焼却率)	t/年 (%)	93,409 (81.9%)	90,505 (82.5%)	92,729 (83.4%)	89,498 (84.3%)	82,400 (82.4%)
		埋立量 (埋立処分率)	t/年 (%)	5,352 (4.7%)	4,937 (4.5%)	4,228 (3.8%)	663 (0.6%)	1,700 (1.7%)
		資源化量	t/年	45,197	41,484	40,977	42,056	44,000
	資源化率	資源化率	%	32.7%	31.8%	31.2%	33.5%	36%
	経 済 性	注2) 処理単価	総処理経費	円/t	49,064	47,367	48,725	52,226
収集経費			円/t	27,073	28,212	28,430	31,331	—
中間処理経費			円/t	24,506	23,865	25,185	26,857	—
最終処分(埋立)経費			円/t	94,856	89,257	96,190	221,135	—
資源化経費			円/t	30,473	32,236	34,905	39,855	—
1人当たり年間処理経費			円/人・年	13,766	13,113	13,807	14,366	—
【参考】* 住民基本台帳人口		人	415,375	406,003	401,977	397,846	—	
* 将来推計人口(H26年5月推計)			415,487	404,552	401,229	397,737	394,100	

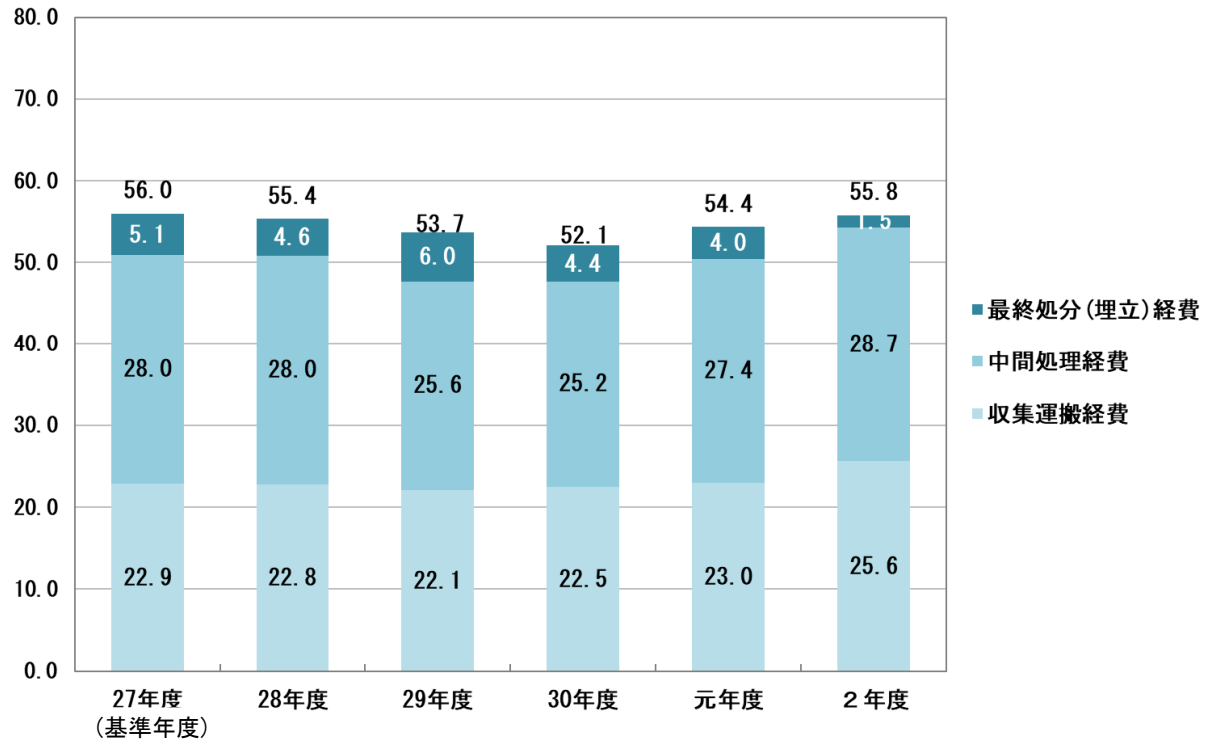
注1) 「1人1日排出量」及び「1人1日総排出量(集団回収を含む)」の実績は、「ごみ量」及び「総排出量」を「住民基本台帳人口」で割っているが、令和3年度(目標年度)は「将来推計人口」(横須賀市都市政策研究所にて推計)で割って算出している。

注2) 処理単価は、神奈川県一般廃棄物処理実績報告の作成基準に基づいて算出している。また、平成27年度～令和元年度の処理単価は、東日本大震災の影響により生じた追加的費用について東京電力損害賠償金を減額して算出している。



## ごみ処理経費の推移

(億円/年)



(注) ごみ処理経費は、令和元年度まで東京電力損害賠償金を減額して算出している。

### 【各経費の主な内訳】

- ・収集運搬経費…人件費（収集担当職員、一般職員※）、車両購入費、ごみ収集直営事業、ごみ収集委託事業、自動車管理事業 等
  - ・中間処理経費…人件費（工場操作担当職員等、一般職員※）、リサイクルプラザ再資源化事業、南処理工場運営事業 等
  - ・最終処分経費…人件費（一般職員※）、ごみ最終処分事業、長坂埋立地浄化センター管理事業 等
- ※一般職員の人件費は、収集運搬・中間処理・最終処分の各事業費の規模で按分して配分している。

## ごみ処理基本計画 関連施策・事業等の実施状況

### 関連施策・事業等の体系

注) 評価基準 A : 実施している又は実施した。B1 : 一部実施している又は一部実施した。  
B2 : 実施に向け準備を進めた。C : 実施していない。

基本施策	具体的施策	記載頁	担当課	評価	
1. 重点施策 《第1・3章》	(1) ごみ処理広域化計画による施設整備の推進	①横須賀ごみ処理施設の建設	29	資源循環政策課	A
	(2) 継続的な減量化・資源化啓発事業の実施	①市民に対する分別啓発の推進	28	資源循環政策課	A
		②事業者に対する分別啓発の促進	28	廃棄物対策課	A
	(3) 植木剪定枝等、新規資源化策の実施	①植木剪定枝の資源化	29	資源循環政策課 資源循環久里浜事務所	A A
②その他新規資源化策の検討		30	資源循環政策課	B1	
2. ごみの発生・排出抑制のための方策 《第4章》	(1) 発生抑制 (リデュース)	①市民に対する発生抑制に関する啓発	33	資源循環政策課	A
		②生ごみ等減量化処理機器の購入費補助	33	資源循環政策課	A
		③食品ロス削減に向けた取組み	33	資源循環政策課	C
			33	廃棄物対策課	A
	(2) 再使用 (リユース)	①再生家具の提供	33	資源循環施設課	C
		②古本・古着市の開催	33	資源循環施設課	C
	(3) 再生利用 (リサイクル)	①庁舎内から出るごみの減量化・資源化の推進	34	資源循環政策課	A
		②グリーン購入の推進	34	環境企画課	A
		③公共工事等における再生資源の使用	34	環境企画課	A
		④リサイクルに向けた事業者の取組み支援	34	廃棄物対策課	B2
	(4) 周知・啓発	①ごみ教室の開催、啓発冊子の発行	35	資源循環政策課	A
		②ごみ分別パンフレットや収集カレンダーの発行	35	資源循環政策課	A
		③外国人向け分別パンフレットの発行	35	資源循環政策課	A
		④ごみ分別アプリの配信	35	資源循環政策課	A
		⑤広報紙・ホームページによる周知・啓発	35	資源循環政策課	A
		⑥ごみトーク・ごみ問題学習会の開催	35	資源循環政策課	C
		⑦アイクルフェアの開催	35	資源循環施設課	C
		⑧市民と協働した啓発活動の実施	35	資源循環政策課	B1
		⑨アイクル施設見学による周知・啓発	35	資源循環施設課	B1
		⑩横須賀ごみ処理施設見学による適正処理の周知	35	広域処理センター	B2
		⑪事業系一般廃棄物多量排出事業者に対する指導	35	廃棄物対策課	A
	⑫ごみ集積所における排出指導	35	廃棄物対策課	A	
		35	資源循環久里浜事務所	A	
(5) その他	①各リサイクル法に関する周知・啓発	35	資源循環政策課	A	
		35	廃棄物対策課	A	
		35	資源循環施設課	A	
②家庭ごみ有料化の検討	35	資源循環政策課	B2		
	35	資源循環政策課	B1		

注) 評価基準 A : 実施している又は実施した。B1 : 一部実施している又は一部実施した。  
B2 : 実施に向け準備を進めた。C : 実施していない。

基本施策		具体的施策	記載頁	担当課	評価
3. 分別収集と適正処理 《第5章》	(1) 分別収集区分	① ごみの種類・分別区分、排出方法の見直し	36	資源循環政策課 廃棄物対策課	A A
	(2) 収集運搬計画	① 直営委託区域	37	資源循環政策課	A
	(3) 中間処理計画	① 再資源化処理（リサイクルプラザ“アイクル”）	39	資源循環施設課	A
		② 焼却処理（横須賀ごみ処理施設）	40	広域処理センター	A
		③ 不燃・粗大ごみ処理（横須賀ごみ処理施設）	40	広域処理センター	A
		④ 民間施設における中間処理	40	資源循環政策課 廃棄物対策課	A A
	(4) 最終処分計画	① 最終処分	41	広域処理センター	A
	(5) 施設整備状況	① 施設の長寿命化・延命化対策	43	資源循環施設課	A
(6) 広域処理施設整備状況	① 横須賀ごみ処理施設の整備		43	資源循環施設課	A
				広域処理センター	A
4. その他 必要事項 《第6章》	(1) 計画の進行管理	① 計画の点検・評価・見直しの実施	47	資源循環政策課	A
	(2) 家庭ごみ有料化の検討	① 家庭ごみ有料化の検討	49	資源循環政策課	B2
	(3) 高齢化社会対策	① 高齢者のごみ出し支援の検討	49	廃棄物対策課	A
	(4) 災害時の廃棄物対策	① 災害時の廃棄物処理体制の確保	50	資源循環政策課	A
	(5) 不法投棄対策	① 不法投棄防止対策の強化	52	廃棄物対策課	A
	(6) ポイ捨て防止及び路上禁煙	① ポイ捨て防止及び路上禁煙の徹底	52	資源循環政策課	A
		② クリーンよこすかの推進に関すること	52	資源循環政策課	A
	(7) 海岸漂着ごみ	① 海岸漂着ごみの円滑処理	52	廃棄物対策課	A
	(8) 適正処理困難物・排出禁止物	① 適正処理困難物・排出禁止物の処理に関する指導		52	資源循環政策課
				廃棄物対策課	A
				広域処理センター	A
				資源循環久里浜事務所	A
(9) 制度改善要望	① 一般廃棄物の処理に関する制度改善要望	53	資源循環政策課	A	

## 関連施策・事業等の取組実績

### 1. 重点施策

#### (1) ごみ処理広域化計画による施設整備の推進

①横須賀ごみ処理施設の建設（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】

- ・平成21年3月に策定した「横須賀市三浦市ごみ処理広域化基本計画」、平成24年度に策定した「横須賀ごみ処理施設整備実施計画」に基づき、施設稼働に向けて各種工事等を引き続き実施し、令和2年3月から横須賀ごみ処理施設の本稼働を開始しました。

#### (2) 継続的な減量化・資源化啓発事業の実施

①市民に対する分別啓発の推進（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】

- ・人口減少等により、集団資源回収量は年々減少傾向にありますが、「その他の紙」の回収促進に努めました。集団資源回収量は19,347トンでした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
集団資源回収量	23,029 トン	22,091 トン	20,881 トン	20,106 トン	19,347 トン

②事業者に対する分別啓発の促進（廃棄物対策課）

- ・事業者向けの食品ロス削減啓発ポスターを市内広報掲示板434、市施設25、本庁舎掲示板10か所に掲示しました。
- ・廃棄物の減量化・資源化を推進するため、事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を229件受理し、集計結果をホームページで公表しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	203 件	215 件	218 件	224 件	229 件

#### (3) 植木剪定枝等、新規資源化策の実施

①植木剪定枝の資源化（資源循環政策課）（資源循環久里浜事務所）

【令和2年度は資源循環総務課、資源循環久里浜事務所が担当】

- ・民間の資源化処理施設に持ち込みができない草等を、積替保管施設で受け入れるための運営方法等を検討し、令和2年1月より搬入を開始しました。

②その他新規資源化策の検討（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】

- ・プラスチックの資源化等の新規資源化策について、情報収集を行いました。



## 2. ごみの発生・排出抑制のための方策

### (1) 発生抑制（リデュース）

- ①市民に対する発生抑制に関する啓発（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】
- 子どもごみ教室の開催、ごみ分別パンフレットの発行などにより啓発を行いました（2.（4）①～⑥⑧⑩のとおり）。
- ②生ごみ等減量化処理機器の購入費補助（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】
- 電気式生ごみ処理機 104基、EM処理容器 5基、コンポスト容器 38基、小枝粉碎機 13基の購入費を補助しました（購入費の1/2、限度額3万円）。
  - 広報よこすかへ掲載するなど、生ごみ等減量化処理機器の普及に努めました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
電気式生ごみ処理機	56基	51基	65基	54基	104基
EM処理容器	5基	3基	1基	2基	5基
コンポスト容器	37基	23基	25基	26基	38基
小枝粉碎機	5基	6基	6基	15基	13基

- ③食品ロス削減に向けた取組み（資源循環政策課）（廃棄物対策課）
- 【令和2年度は資源循環総務課、資源循環推進課が担当】
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、食品ロス組成調査は実施することが出来ませんでした。
  - 事業者向けの食品ロス削減啓発ポスターを市内広報掲示板 434、市施設 25、本庁舎掲示板 10か所に掲示しました。また、広報よこすかで周知しました。
- ④事業者に対する発生抑制に関する啓発（廃棄物対策課）
- 事業者向けの食品ロス削減啓発ポスターを市内広報掲示板 434、市施設 25、本庁舎掲示板 10か所に掲示しました。また、広報よこすかで周知しました。（再掲）
  - 廃棄物の減量化・資源化を推進するため、事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を 229件受理し、集計結果をホームページで公表しました。（再掲）

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	203件	215件	218件	224件	229件

### (2) 再使用（リユース）

- ①再生家具の提供（資源循環施設課） 【令和2年度はリサイクルプラザが担当】
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、アイクルフェアを中止したため、再生家具の提供はありませんでした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
再生家具提供個数	154個	136個	128個	55個	0個

- ②古本・古着市の開催（資源循環施設課） 【令和2年度はリサイクルプラザが担当】
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、アイクルフェアを中止したため、古本・古着市はありませんでした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
古本・古着市	3回	3回	3回	2回	0回

### (3)再生利用（リサイクル）

#### ①庁舎内から出るごみの減量化・資源化の推進（資源循環政策課）

【令和2年度は資源循環推進課が担当】

- ・庁舎内から出る古紙及び廃蛍光管の資源化を継続して実施し、古紙 165,350 kg、廃蛍光管 2,872 kg（11,488本）を回収しました。 ※本数は、1kgあたり4本に換算して算出

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
古紙	164,040kg	176,990kg	161,550kg	169,160kg	165,350kg
廃蛍光管	3,498kg 13,992本	3,570kg 14,280本	3,284kg 13,136本	3,180kg 12,720本	2,872kg 11,488本

#### ②グリーン購入の推進（環境企画課）

- ・「横須賀市グリーン購入調達方針」において、毎年、対象品目や判断基準を見直し、全庁的にグリーン購入の推進に取り組んでいます。対象品目 22分野 95品目で集計し、5分野 27品目で90%以上を達成しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
グリーン購入	対象品目 21 分野 98 品目で集計し、7分野 38 品目で90%以上を達成	対象品目 20 分野 98 品目で集計し、8分野 38 品目で90%以上を達成	対象品目 20 分野 98 品目で集計し、5分野 32 品目で90%以上を達成	対象品目 19 分野 97 品目で集計し、9分野 35 品目で90%以上を達成	対象品目 22 分野 95 品目で集計し、5分野 27 品目で90%以上を達成

#### ③公共工事等における再生資源の使用（環境企画課）

- ・3品目で100%を達成しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
公共工事	2 品目で100%を達成	2 品目で100%を達成	1 品目で100%を達成	3 品目で100%を達成	3 品目で100%を達成

#### ④リサイクルに向けた事業者の取組み支援（廃棄物対策課）

- ・先進的な取組や優良事例の情報収集を行いました。

### (4)周知・啓発

#### ①ごみ教室の開催、啓発冊子の発行（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】

- ・子どもごみ教室を44回開催し2,060人が参加しました。
- ・児童用ごみ減量啓発冊子を4,000部作製しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
子どもごみ教室	31回 1,972人	37回 2,129人	42回 2,690人	43回 2,843人	44回 2,060人
啓発冊子	4,500部作製	4,500部作製	3,800部作製	4,000部作製	4,000部作製

#### ②ごみ分別パンフレットや収集カレンダーの発行（資源循環政策課）

【令和2年度は資源循環推進課が担当】

- ・分別収集カレンダー220,000部作製、パンフレット14,000部作製しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
分別収集カレンダー	220,000部作製	220,000部作製	220,000部作製	220,000部作製	220,000部作製
パンフレット	25,000部作製	25,000部作製	作製なし	225,000部作製	14,000部作製

③外国人向け分別パンフレットの発行（資源循環政策課） 【令和２年度は資源循環推進課が担当】

- ・英語 3,000 部、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語各 500 部作製しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
英語版	4,000 部作製	4,000 部作製	4,000 部作製	9,000 部作製	3,000 部作製
中国語、韓国語版	各 250 部作製	各 250 部作製	各 350 部作製	各 350 部作製	各 500 部作製
スペイン語、ポルトガル語版	各 250 部作製	各 250 部作製	各 150 部作製	各 150 部作製	各 500 部作製

④ごみ分別アプリの配信（資源循環政策課） 【令和２年度は資源循環推進課が担当】

- ・スマートフォン用ごみ分別アプリのダウンロード数は、7,768 でした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
ダウンロード数	3,641	4,818	5,009	8,409	7,768

⑤広報紙・ホームページによる周知・啓発（資源循環政策課） 【令和２年度は資源循環推進課が担当】

- ・広報よこすかに 11 回、32 件を掲載しました。
- ・HP「ごみデータ in よこすか」を毎月更新し、ごみ量の推移を周知しました。
- ・教育委員会からポスター等の募集自粛の要請により、ポスター・標語の募集を行いませんでした。
- ・立て看板、ポスター、懸垂幕、横断幕等による啓発を実施しました（6 月、10 月各 1 か月間）

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
広報よこすか	12 回 35 件	12 回 43 件	11 回 35 件	11 回 24 件	11 回 32 件
ポスター	1,506 点	1,440 点	1,447 点	1,212 点	0 点
標語	673 点	699 点	545 点	507 点	0 点

⑥ごみトーク・ごみ問題学習会の開催（資源循環政策課） 【令和２年度は資源循環推進課が担当】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ごみトーク及びごみ問題学習会は実施を見合わせました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
ごみトーク	30 回 2,366 人	42 回 2,665 人	34 回 2,469 人	276 回 11,539 人	0 回 0 人
ごみ問題学習会	13 回 265 人	15 回 288 人	10 回 173 人	7 回 128 人	0 回 0 人

⑦アイクルフェアの開催（資源循環施設課） 【令和２年度はリサイクルプラザが担当】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、アイクルフェアは中止しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
アイクルフェア	3 回 延べ9,500 人	3 回 延べ8,000 人	3 回 延べ8,700 人	2 回 延べ5,300 人	0 回 0 人

⑧市民と協働した啓発活動の実施（資源循環政策課） 【令和２年度は資源循環推進課が担当】

- ・6 月をクリーンよこすか推進月間とし、美化活動に延べ 39,857 人が参加しました。
- ・クリーンよこすか市民のつどい及びクリーンよこすか中央会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しました。
- ・ごみダイエット推進員研修会及び施設見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見合わせました。
- ・10 月に 7 日間、ポイ捨て防止街頭キャンペーンを実施し 82 人が参加しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
クリーンよこすか推進月間における美化活動の実施	延べ95,760人	延べ91,971人	延べ94,140人	延べ86,023人	延べ39,857人
クリーンよこすか市民のつどい	546人	547人	544人	419人	0人
クリーンよこすか中央会議	670人	687人	697人	490人	0人
ごみダイエット推進員研修会	10回 218人	10回 245人	10回 183人	10回 250人	0回 0人
施設見学会	3回 62人	9回 128人	3回 51人	9回 158人	0回 0人
ポイ捨て防止街頭キャンペーン	328人	290人	302人	240人	82人

⑨アイクル施設見学による周知・啓発（資源循環施設課） 【令和2年度はリサイクルプラザが担当】

- 小学生のリサイクル学習は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。また、アイクル施設見学者数は、緊急事態宣言の解除時に受け入れたものです。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
アイクル施設見学	135団体 8,053人	137団体 7,668人	127団体 7,254人	137団体 7,398人	1団体 34人
小学生のリサイクル学習	46校 3,211人	46校 3,149人	47校 3,069人	46校 2,908人	0校 0人

⑩横須賀ごみ処理施設見学による適正処理の周知（広域処理センター）

- 横須賀ごみ処理施設見学は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
横須賀ごみ処理施設見学	29団体 1,288人	26団体 1,307人	18団体 1,058人	20団体 1,205人	0団体 0人

⑪事業系一般廃棄物多量排出事業者に対する指導（廃棄物対策課）

- 事業者向けの食品ロス削減啓発ポスターを市内広報掲示板434、市施設25、本庁舎掲示板10か所に掲示しました。（再掲）
- 廃棄物の減量化・資源化を推進するため、事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を229件受理し、集計結果をホームページで公表しました。（再掲）

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	203件	215件	218件	224件	229件

⑫ごみ集積所における排出指導（廃棄物対策課）（資源循環久里浜事務所）

【令和2年度は廃棄物対策課、資源循環久里浜事務所が担当】

- 市民等への分別排出指導を357件、ごみ集積所の新設・移設等を268件実施しました。
- ごみ収納ボックスを368台・カラス除けネットを2,382枚配付しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
市民等への分別排出指導	292件	309件	446件	356件	357件
ごみ集積所の新設・移設等	240件	253件	239件	267件	268件
ごみ収納ボックス	407台	486台	480台	361台	368台
カラス除けネット	2,388枚配付	2,456枚配付	2,401枚配付	2,224枚配付	2,382枚配付

## **(5) その他**

- ①各リサイクル法に関する周知・啓発（資源循環政策課）（廃棄物対策課）（資源循環施設課）  
【令和2年度は資源循環総務課、資源循環推進課、廃棄物対策課、リサイクルプラザが担当】  
・パンフレット、HP掲載等による周知・啓発を継続実施しました。
- ②家庭ごみ有料化の検討（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】  
・全国自治体の有料化導入状況の調査、県内で導入を検討している自治体の情報収集を行いました。ごみの減少傾向が進んでいることから、当面導入の予定はありませんが、将来的な検討の必要性を考慮して引き続き調査を行いました。
- ③廃棄物処理手数料の検討（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】  
・他都市の廃棄物処理手数料の状況を調査しました。

## **3. 分別収集と適正処理**

### **(1) 分別収集区分**

- ①ごみの種類・分別区分、排出方法の見直し（資源循環政策課）（廃棄物対策課）  
【令和2年度は資源循環総務課、資源循環推進課が担当】  
・令和3年1月から小型充電式電池の拠点回収を開始しました。

### **(2) 収集運搬計画**

- ①直営委託区域（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】  
・区域に変更はなく、引き続き、14地区を委託収集区域として定日ごみ収集を行いました。世帯割合は、直営収集区域 37.0%、委託収集区域 63.0%（令和2年10月1日現在）でした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
直営収集区域	37.0%	36.9%	36.8%	36.9%	37.0%
委託収集区域	63.0%	63.1%	63.2%	63.1%	63.0%

### **(3) 中間処理計画**

- ①再資源化处理（資源循環施設課） 【令和2年度はリサイクルプラザが担当】  
・缶・びん・ペットボトル、容器包装プラスチック、集団資源回収品目（段ボール・紙パック・その他の紙）について、容器包装リサイクル法に基づく中間処理（選別・圧縮または圧縮梱包）を行い、再資源化しました。搬入量は18,484トン、資源化量は18,092トンでした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
搬入量	19,209ト	19,053ト	18,786ト	18,484ト	18,484ト
資源化量	18,777ト	18,613ト	18,227ト	17,785ト	18,092ト

- ②焼却処理（広域処理センター）  
・燃せるごみとして収集・直接搬入されたごみのほか、不燃ごみ等選別施設で処理した後の可燃性残さ等を焼却し、最終処分するごみの減量、及び衛生的処理を行いました。搬入量は98,622トン、焼却量は94,455トンでした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
搬入量	100,336 トン	99,431 トン	98,173 トン	101,055 トン	98,622 トン
焼却量	92,175 トン	89,338 トン	91,555 トン	93,645 トン	94,455 トン

### ③不燃・粗大ごみ処理（広域処理センター）

- ・収集・直接搬入された不燃ごみと粗大ごみを形状や材質等に応じて処理し、可燃性残さは焼却、不燃性残さは埋立、鉄類は磁選機で資源物として回収しました。搬入量は、6,272 トン、処理量は 6,315 トンでした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
搬入量	3,114 トン	3,233 トン	3,472 トン	4,190 トン	6,272 トン
処理量	3,095 トン	3,186 トン	3,383 トン	4,648 トン	6,315 トン

※H28 年度～R1 年度の搬入量及び処理量は粗大ごみ分のみであるが、R2 年度の搬入量及び処理量は不燃ごみ分と粗大ごみ分の合計値である。

### ④民間施設における中間処理（資源循環政策課）（廃棄物対策課）

【令和 2 年度は資源循環総務課、資源循環推進課が担当】

- ・店頭等で拠点回収した使用済み乾電池 114 トン、水銀使用廃製品（体温計、温度計、血圧計）1,340 個を民間処理施設へ処理委託しました。
- ・市内 16 か所の公共施設等でボックス回収した使用済み小型家電 55 トンを、国の認定を受けた再資源化事業者へ引き渡しました。
- ・アィクル搬入分を除く集団資源回収 14,406 トンは、資源回収協同組合により有価物として直接売却されました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
使用済み乾電池	93 トン	99 トン	92 トン	96 トン	114 トン
水銀使用廃製品	—	1,452 個	715 個	654 個	1,340 個
使用済み小型家電	19 トン	16 トン	20 トン	24 トン	55 トン
集団資源回収 (アィクル搬入分を除く)	18,151 トン	17,292 トン	16,224 トン	15,520 トン	14,406 トン

## (4)最終処分計画

### ①最終処分（広域処理センター）

- ・不燃ごみと粗大ごみを不燃ごみ等選別施設で処理し、不燃性残さを三浦市最終処分場に搬出し埋め立て処理を行いました。埋立量は 731 トン、破砕不適物処分量は 36 トンでした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
埋立量	5,015 トン	5,083 トン	4,937 トン	3,981 トン	731 トン
破砕不適物処分量	14 トン	20 トン	15 トン	41 トン	36 トン

## (5)施設整備状況

### ①施設の長寿命化・延命化対策（資源循環施設課）

- ・長坂埋立地浄化センターマンホール改修工事を実施しました。

## **(6) 広域処理施設整備状況**

- ①横須賀ごみ処理施設の整備（資源循環施設課）（広域処理センター）
- ・横須賀ごみ処理施設建設に伴う工事を実施しました。
  - ・環境影響評価（環境アセスメント）事後調査及び届出を実施しました。
  - ・「横須賀ごみ処理施設運営協議会」と協議を実施しました。

## **4. その他必要事項**

### **(1) 計画の進行管理**

- ①計画の点検・評価・見直しの実施（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】
- ・令和元年度実績を基に、計画の数値目標などの達成状況について評価を実施しました。

### **(2) 家庭ごみ有料化の検討**

- ①家庭ごみ有料化の検討（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】
- ・全国自治体の有料化導入状況の調査、県内で導入を検討している自治体の情報収集を行いました。ごみの減少傾向が進んでいることから、当面導入の予定はありませんが、将来的な検討の必要性を考慮して引き続き調査を行いました。

### **(3) 高齢化社会対策**

- ①高齢者のごみ出し支援の検討（廃棄物対策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】
- ・福祉部と情報共有及び意見交換を行うため、関係者会議を4回開催しました。

### **(4) 災害時の廃棄物対策**

- ①災害時の廃棄物処理体制の確保（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】
- ・大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会が実施した研修会等（オンライン）に参加し、情報収集を行いました。
  - ・横須賀市災害廃棄物処理計画の時点修正等を行いました。

### **(5) 不法投棄対策**

- ①不法投棄防止対策の強化（廃棄物対策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】
- ・パネル展を10か所で開催、警察との合同パトロールを8回実施、移動式監視カメラの活用をしました。
  - ・巡回調査等を延べ21,072か所実施し、処理量は46.66トンでした。
  - ・不法投棄防止対策として夜間監視パトロールを10日間実施しました。
  - ・不法投棄多発地域10か所に環境ポスターを掲出しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
パネル展	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所
警察との合同パトロール	11回	11回	11回	11回	8回

広報掲示板へポスター掲出	436 か所	435 か所	—	—	434 か所
巡回調査等	延べ25,241 か所 46.43 トン	延べ21,667 か所 46.68 トン	延べ23,024 か所 49.14 トン	延べ23,050 か所 44.42 トン	延べ21,072 か所 46.66 トン
夜間監視パトロール	1 日間	2 日間	10 日間	10 日間	10 日間
不法投棄多発地帯への環境ポスター掲出	6 か所	6 か所	6 か所	10 か所	10 か所

## (6) ポイ捨て防止及び路上禁煙

### ①ポイ捨て防止及び路上禁煙の徹底（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ごみゼロ啓発キャンペーンは実施を見合わせました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、年末年始キャンペーンは実施を見合わせました。
- ・巡回指導を259回、喫煙中止指導を301件実施しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
巡回指導	263 回	258 回	260 回	241 回	259 回
喫煙中止指導	323 件	208 件	241 件	245 件	301 件

### ②クリーンよこすかの推進に関すること（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】

- ・キャラバン隊キャンペーン等を64コース実施し、886人が参加しました。
- ・イベントにおける清掃活動等を8回実施し、125人が参加しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
キャラバン隊キャンペーン等	81 コース 2,530 人	82 コース 1,911 人	105 コース 2,025 人	87 コース 2,618 人	64 コース 886 人
イベントにおける清掃活動等	22 回 1,307 人	23 回 1,299 人	21 回 1,064 人	20 回 1,053 人	8 回 125 人

## (7) 海岸漂着ごみ

### ①海岸漂着ごみの円滑処理（廃棄物対策課） 【令和2年度は資源循環推進課が担当】

- ・（公財）かながわ海岸美化財団により海浜地清掃を実施し、処理量は102,495kgでした。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
処理量	76,485kg	89,375kg	90,922kg	193,583kg	102,495kg

## (8) 適正処理困難物・排出禁止物

### ①適正処理困難物・排出禁止物の処理に関する指導（資源循環政策課）（廃棄物対策課）（広域処理センター）（資源循環久里浜事務所）

【令和2年度は資源循環総務課、資源循環推進課、廃棄物対策課、広域処理センター、資源循環久里浜事務所が担当】

- ・各施設の実態を考慮し、受け入れる一般廃棄物の追加・削除品目を検討する等、受入基準の見直しを行いました。
- ・市民からの問い合わせや持込み時に適正処理困難物・排出禁止物の指導を行いました。



## (9) 制度改善要望

①一般廃棄物の処理に関する制度改善要望（資源循環政策課） 【令和2年度は資源循環総務課が担当】

- ・県市長会、神都清、全都清などを通じて、一般廃棄物の適正処理に関する制度改善要望 18 件（延べ 21 件）を国・県に提出しました。

参考指標	H28	H29	H30	R1	R2
改善要望	8 件 (延べ 13 件)	12 件 (延べ 17 件)	14 件 (延べ 19 件)	14 件 (延べ 19 件)	18 件 (延べ 21 件)

### 総合評価

「横須賀市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（平成 29 年度～令和 3 年度）の進行管理は、平成 27 年度実績に基づき設定した目標値の達成状況と、重点施策および関連施策・事業等の実施状況についての評価により実施します。

令和 2 年度のごみ総排出量は 125,488 トンであり、昨年度（令和元年度）実績と比較して 4.4%、基準年度（平成 27 年度）実績と比較すると 9.3%減少しています。しかし、目標値（令和 3 年度）はまだ達成出来ていないため、今後も減量化策を推進していくことが必要です。

また、集団資源回収量は 19,347 トンで、基準年度（平成 27 年度）実績と比較して 20.3%減少しているため、目標値（令和 3 年度）の水準を維持することができませんでした。集団資源回収量については、年々減少傾向が続いているので、集団資源回収への分別について啓発を推進するとともに、新たな回収品目の追加や更なる資源化策の実施等を含めて検討していきます。

焼却量は、基準年度（平成 27 年度）実績と比較して 4.2%減少していますが、目標値（令和 3 年度）は達成出来ていません。令和元年 11 月から開始した事業系剪定枝の資源化により、昨年度（令和元年度）よりも大幅に減少していますが、目標達成に向け、今後も新たな資源化策について検討が必要です。

埋立量については、基準年度（平成 27 年度）実績と比較して 87.6%と減少し、目標値（令和 3 年度）を達成することが出来ました。横須賀ごみ処理施設において、不燃ごみを破砕・選別して金属等を取り出し、埋め立てが必要な不燃残さを減らしたことで、埋立量が大幅に減少しました。

重点施策に掲げていた横須賀ごみ処理施設については、令和 2 年 3 月より本稼働を開始し、現在順調に稼働しています。今後も安定したごみ処理を目指すとともに、ごみの減量化・資源化に努めていきたいと考えています。

## ◎ ごみ処理実績について

### 1 排出量

#### (1) 種類別排出量

単位：トン

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
燃せるごみ		89,399	88,469	87,213	88,862	84,395	△ 4,467	△ 5.0%
不燃ごみ		5,090	5,105	5,034	4,449	1,292	△ 3,157	△ 71.0%
資源ごみ		14,462	14,390	14,270	14,053	16,035	1,982	14.1%
	缶・びん・ペットボトル	6,621	6,522	6,311	6,171	6,304	133	2.2%
	容器包装プラスチック	7,724	7,746	7,835	7,747	7,268	△ 479	△ 6.2%
	乾電池等	110	111	115	122	157	35	28.7%
	枝草	-	-	-	-	2,292	2,292	100.0%
	その他	7	11	9	13	14	1	7.7%
粗大ごみ		2,900	2,986	3,140	3,829	4,419	590	15.4%
小計		111,851	110,950	109,657	111,193	106,141	△ 5,052	△ 4.5%
集団資源回収		23,029	22,091	20,881	20,106	19,347	△ 759	△ 3.8%
合計		134,880	133,041	130,538	131,299	125,488	△ 5,811	△ 4.4%

注) 枝草は、令和元年度まで燃せるごみ、令和2年度から資源ごみとして処理をしている。

#### (2) 収集等形態別排出量

単位：トン

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
定日収集		81,214	80,196	78,663	79,641	80,120	479	0.6%
	燃せるごみ	62,004	61,084	59,769	61,557	65,305	3,748	6.1%
	不燃ごみ	4,870	4,852	4,755	4,176	1,246	△ 2,930	△ 70.2%
	缶・びん・ペットボトル	6,617	6,516	6,305	6,165	6,302	137	2.2%
	容器包装プラスチック	7,723	7,744	7,834	7,743	7,267	△ 476	△ 6.1%
許可収集		20,435	20,443	20,611	20,192	18,007	△ 2,185	△ 10.8%
乾電池等収集		110	111	115	122	157	35	28.7%
粗大ごみ等収集		982	969	976	1,124	1,255	131	11.7%
臨時収集		799	817	816	904	616	△ 288	△ 31.9%
直接搬入		8,311	8,414	8,476	9,210	5,986	△ 3,224	△ 35.0%
小計		111,851	110,950	109,657	111,193	106,141	△ 5,052	△ 4.5%
集団資源回収		23,029	22,091	20,881	20,106	19,347	△ 759	△ 3.8%
合計		134,880	133,041	130,538	131,299	125,488	△ 5,811	△ 4.4%

#### (3) 他市受入れ量

単位：トン

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
三浦市 燃せるごみ		7,849	7,779	7,668	8,149	8,705	556	6.8%
三浦市 不燃ごみ		-	-	-	40	202	162	405.0%
三浦市 粗大ごみ		-	-	-	79	379	300	379.7%
千葉県 災害ごみ		-	-	-	115	-	△ 115	△ 100.0%

## 2 処分量（処理施設搬入量）

単位：トン

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
焼却施設		100,336	99,431	98,173	101,055	98,622	△ 2,433	△ 2.4%
不燃ごみ等選別施設(不燃)		5,090	5,105	5,034	4,489	1,497	△ 2,992	△ 66.7%
不燃ごみ等選別施設(粗大)		3,114	3,233	3,472	4,190	4,775	585	14.0%
資源化施設		19,209	19,053	18,786	18,484	18,484	0	0.0%
積替保管施設(枝草等)		-	-	-	176	2,351	2,175	1,235.8%
直接資源化		18,282	16,991	15,975	15,282	13,920	△ 1,362	△ 8.9%
合計		146,031	143,813	141,440	143,676	139,649	△ 4,027	△ 2.8%

注) 資源化施設処分量には、リサイクルプラザに搬入される集団資源回収（段ボール、紙パック、その他の紙）を含む。

## 3 資源化量

単位：トン

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
リサイクルプラザ		18,956	18,777	18,613	18,227	17,785	△ 442	△ 2.4%
集団資源回収		19,339	17,702	16,855	15,834	15,127	△ 707	△ 4.5%
焼却灰スラグ化ほか		6,375	6,854	6,549	6,945	7,517	572	8.2%
粗大金属ほか		527	464	438	478	843	365	76.4%
枝草		-	-	-	-	2,081	2,081	100.0%
合計		43,797	42,455	41,484	41,272	42,866	1,594	3.9%

注) 集団資源回収のうち段ボール、紙パック、その他の紙はプラザの資源化に含む。

## 4 資源化率

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
資源化率		32.5%	31.9%	31.8%	31.4%	33.5%	2.1%	-
県内平均資源化率		24.8%	24.4%	24.3%	24.1%		-	-
全国平均資源化率		20.3%	20.2%	19.9%	19.6%		-	-

注) 資源化率(%) = 【資源化量】 ÷ 【排出量合計(集団資源回収量を含む)】 × 100

## 5 1人1日排出量

単位：グラム

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
集団回収を除く		743	742	740	758	731	△ 27	△ 3.6%
集団回収を含む		896	890	881	895	864	△ 31	△ 3.4%

### 【参考】

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人口(人)		412,413	409,478	406,003	401,977	397,846
世帯数(世帯)		190,249	191,026	191,542	191,703	191,827

注) 人口及び世帯数は10月1日現在の住民基本台帳による。

## 【参考】

### 神奈川県一般廃棄物処理実績報告の定義に基づく生活系、事業系ごみの内訳

#### 1 生活系ごみについて

##### (1) 排出量

単位：トン

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
可燃ごみ		62,015	61,120	59,792	61,611	65,345	3,734	6.1%
不燃ごみ		4,871	4,855	4,757	4,176	1,246	△ 2,930	△ 70.2%
資源ごみ		14,471	14,396	14,280	14,063	13,769	△ 294	△ 2.1%
粗大ごみ		2,850	2,933	3,085	3,745	4,370	625	16.7%
小計		84,207	83,304	81,914	83,595	84,730	1,135	1.4%
集団回収量		22,562	21,631	20,467	19,682	18,621	△ 1,061	△ 5.4%
合計		106,769	104,935	102,381	103,277	103,351	74	0.1%

注) 概ね、定日収集、粗大ごみ(収集・直接搬入)、乾電池等収集、集団資源回収の合計。

##### (2) 1人1日排出量

単位：グラム

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
集団回収を含む		702	702	691	704	712	8	1.1%

#### 2 事業系ごみについて

##### (1) 排出量

単位：トン

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	2年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
可燃ごみ		27,833	27,786	27,811	27,644	19,736	△ 7,908	△ 28.6%
不燃ごみ		219	250	277	273	46	△ 227	△ 83.2%
資源ごみ		9	17	14	21	2,306	2,285	10,881.0%
粗大ごみ		50	53	55	84	49	△ 35	△ 41.7%
合計		28,111	28,106	28,157	28,022	22,137	△ 5,885	△ 21.0%

注1) 概ね、許可収集、直接搬入(燃せるごみ・不燃ごみ・資源ごみ)の合計。

直接搬入分は、集計の都合上、一部市民からの持ち込み分を含む。

注2) 枝草は、令和元年度まで燃せるごみ、令和2年度から資源ごみとして処理をしている。

令和2年度ごみ排出量及び資源化量の内訳

ごみの種類	排出量(トン)		資源物	資源化量(トン)	資源化率
燃せるごみ	84,395	»	焼却灰 (溶融スラグ)	7,117	5.67%
不燃ごみ	1,292	»	金属チップ(鉄)	621	0.49%
			金属チップ(アルミ)	41	0.03%
粗大ごみ	4,419		粗大金属	172	0.14%
			家具	0	0.00%
缶・びん・ペット ボトル	6,304	»	スチール缶	612	0.49%
			アルミ缶	816	0.65%
			びん(無色、茶色、 その他の色)	2,027	1.62%
			ペットボトル	1,571	1.25%
			ガラス残さ	1,027	0.82%
容器包装プラス チック	7,268	»	容器包装プラス チック	7,180	5.72%
段ボール、紙パッ ク、その他の紙	4,912	»	段ボール	3,949	3.15%
			紙パック	70	0.06%
			その他の紙	840	0.67%
乾電池、小型家電	157	»	乾電池	114	0.09%
			小型家電	55	0.04%
枝草	2,292		枝草	2,081	1.66%
新聞、雑誌、古着 類、その他金属	14,409	»	新聞、雑誌、古着 類・その他金属	13,723	10.94%
蛍光灯類	40	»	蛍光灯類	40	0.03%
合 計	125,488		合 計	42,056	33.5%

\* 令和元年度 資源化率は、 $41,272 \div 131,299 \times 100 = 31.4\%$

## 県内19市の資源化率と原単位(1人1日排出量)

『神奈川県一般廃棄物処理事業の概要』を基に作成

平成30年度 (2018年度)			令和元年度 (2019年度)			
資源化率	原単位	集団回収を含む原単位	資源化率	原単位	集団回収を含む原単位	
1. 鎌倉 52.5%	1. 逗子 685g	1. 座間 734g	1. 鎌倉 52.6%	1. 逗子 701g	1. 座間 725g	
2. 逗子 46.4%	2. 横浜 717g	2. 大和 779g	2. 逗子 47.5%	2. 座間 713g	2. 大和 788g	
3. 三浦 38.4%	3. 座間 718g	3. 綾瀬 783g	3. 三浦 36.0%	3. 横浜 729g	3. 海老名 791g	
<b>4. 横須賀 31.8%</b>	4. 藤沢 729g	4. 茅ヶ崎 785g	4. 海老名 33.7%	4. 川崎 729g	4. 川崎 795g	
5. 海老名 30.8%	5. 川崎 737g	5. 海老名 796g	<b>5. 横須賀 31.2%</b>	5. 藤沢 730g	5. 綾瀬 796g	
6. 藤沢 29.7%	6. 伊勢原 751g	6. 川崎 807g	6. 秦野 30.3%	6. 伊勢原 744g	6. 茅ヶ崎 798g	
7. 座間 29.6%	<b>7. 横須賀 758g</b>	7. 秦野 814g	7. 座間 30.2%	<b>7. 横須賀 774g</b>	7. 秦野 810g	
8. 綾瀬 27.6%	8. 大和 779g	8. 逗子 830g	8. 藤沢 29.6%	8. 大和 788g	8. 伊勢原 817g	
9. 平塚 25.4%	9. 綾瀬 783g	9. 伊勢原 831g	9. 綾瀬 28.2%	9. 海老名 791g	9. 横浜 841g	
10. 厚木 25.0%	10. 茅ヶ崎 785g	10. 横浜 833g	10. 大和 25.5%	10. 綾瀬 796g	10. 逗子 845g	
11. 大和 24.9%	11. 海老名 796g	11. 相模原 865g	11. 平塚 25.3%	11. 茅ヶ崎 798g	11. 藤沢 864g	
12. 南足柄 24.2%	12. 秦野 805g	12. 藤沢 865g	12. 厚木 25.3%	12. 秦野 802g	12. 相模原 868g	
13. 横浜 23.5%	13. 相模原 848g	13. 平塚 871g	13. 南足柄 24.1%	13. 相模原 853g	13. 平塚 877g	
14. 秦野 23.4%	14. 平塚 871g	14. 南足柄 894g	14. 横浜 22.9%	14. 平塚 877g	14. 南足柄 887g	
15. 小田原 22.3%	15. 南足柄 894g	15. 厚木 898g	15. 小田原 22.3%	15. 南足柄 887g	15. 厚木 898g	
16. 茅ヶ崎 21.5%	16. 厚木 898g	<b>16. 横須賀 899g</b>	16. 茅ヶ崎 21.3%	16. 厚木 898g	<b>16. 横須賀 911g</b>	
17. 相模原 19.6%	17. 三浦 930g	17. 鎌倉 932g	17. 伊勢原 21.3%	17. 鎌倉 922g	17. 鎌倉 922g	
18. 川崎 19.1%	18. 鎌倉 932g	18. 三浦 963g	18. 相模原 19.9%	18. 三浦 978g	18. 小田原 989g	
19. 伊勢原 18.9%	19. 小田原 992g	19. 小田原 992g	19. 川崎 18.7%	19. 小田原 989g	19. 三浦 1,007g	
19市平均	24.2%	762g	839g	24.1%	767g	841g
県内平均	24.3%	770g	846g	24.1%	775g	848g
全国数値	19.9%	874g	918g	19.6%	877g	918g

注) 神奈川県一般廃棄物処理実績報告の原単位は、「推計人口」を用いているため、本市のごみ処理実績の1人1日排出量(17ページ)と一致しない。

## 全国の資源化率（人口10万人以上50万人未満）

令和元年度			
順位	県名	市名	資源化率（%）
1	神奈川県	鎌倉市	52.1
2	東京都	小金井市	50.0
3	岡山県	倉敷市	46.0
4	東京都	国分寺市	43.0
5	埼玉県	加須市	37.1
6	愛知県	小牧市	36.6
7	東京都	東村山市	35.6
8	東京都	調布市	35.4
9	東京都	立川市	34.0
10	東京都	西東京市	33.2
11	山口県	岩国市	32.6
12	東京都	武蔵野市	32.5
13	埼玉県	朝霞市	32.1
14	東京都	府中市	32.1
15	東京都	三鷹市	31.8
16	北海道	苫小牧市	31.2
17	<b>神奈川県</b>	<b>横須賀市</b>	<b>31.2</b>
18	東京都	東久留米市	31.1
19	神奈川県	海老名市	30.3
20	東京都	小平市	29.9

\* 「一般廃棄物処理実態調査結果」（令和3年3月 環境省）を基に作成

\* 人口10万人以上50万人未満の236自治体中17位

## 県内19市のごみ処理経費(令和元年度実績)

『神奈川県一般廃棄物処理事業の概要』を基に作成

### 総処理経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	綾瀬市	22,105
2	平塚市	32,789
3	座間市	33,444
4	小田原市	34,140
5	横浜市	35,713
6	南足柄市	36,678
7	相模原市	37,859
8	秦野市	38,993
9	川崎市	39,176
10	茅ヶ崎市	42,036
11	三浦市	42,784
12	伊勢原市	43,282
13	厚木市	45,245
14	大和市	46,120
<b>15</b>	<b>横須賀市</b>	<b>48,725</b>
16	藤沢市	55,412
17	鎌倉市	56,676
18	逗子市	61,819
19	海老名市	66,989
19市合計(1ト当たり)		39,732

### 収集経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	小田原市	19,244
2	南足柄市	19,955
3	秦野市	20,880
4	綾瀬市	22,576
5	逗子市	22,862
6	相模原市	23,762
7	三浦市	24,151
8	平塚市	25,936
9	伊勢原市	26,253
10	茅ヶ崎市	26,507
11	座間市	28,157
<b>12</b>	<b>横須賀市</b>	<b>28,430</b>
13	横浜市	28,809
14	海老名市	29,368
15	厚木市	31,719
16	大和市	32,504
17	川崎市	32,549
18	鎌倉市	43,580
19	藤沢市	47,075
19市合計(1ト当たり)		29,431

### 中間処理経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	綾瀬市	3,673
2	横浜市	8,226
3	座間市	9,448
4	南足柄市	10,983
5	平塚市	12,444
6	川崎市	13,878
7	小田原市	15,489
8	茅ヶ崎市	16,536
9	伊勢原市	17,668
10	秦野市	17,981
11	鎌倉市	19,215
12	厚木市	20,041
13	相模原市	20,627
14	大和市	22,419
15	藤沢市	22,568
16	三浦市	23,984
<b>17</b>	<b>横須賀市</b>	<b>25,185</b>
18	逗子市	38,444
19	海老名市	44,201
19市合計(1ト当たり)		14,362



### 最終処分(埋立) 経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	相模原市	6,522
2	川崎市	10,470
3	厚木市	34,151
4	茅ヶ崎市	39,727
5	小田原市	43,680
6	三浦市	45,971
7	横浜市	60,811
8	南足柄市	75,583
9	伊勢原市	77,989
10	秦野市	81,170
11	大和市	83,529
<b>12</b>	<b>横須賀市</b>	<b>96,190</b>
13	平塚市	109,134
14	藤沢市	395,343
15	鎌倉市 <sup>注2)</sup>	—
16	逗子市 <sup>注2)</sup>	—
17	海老名市 <sup>注3)</sup>	—
18	座間市 <sup>注3)</sup>	—
19	綾瀬市 <sup>注3)</sup>	—
19市合計(1ト当たり)		47,884

### 1人当たり年間処理経費

順位	市区町村名	1人当たり (円)
1	綾瀬市	6,442
2	座間市	8,730
3	横浜市	9,533
4	川崎市	10,453
5	平塚市	10,530
6	秦野市	11,441
7	伊勢原市	11,778
8	相模原市	11,814
9	南足柄市	11,910
10	茅ヶ崎市	12,276
11	小田原市	12,357
12	大和市	13,301
<b>13</b>	<b>横須賀市</b>	<b>13,807</b>
14	藤沢市	14,797
15	厚木市	14,875
16	三浦市	15,314
17	逗子市	15,868
18	鎌倉市	19,123
19	海老名市	19,391
19市合計(1ト当たり)		11,154

※推計人口数で算出

注1) 藤沢市は埋立量が361tと少なく、最終処分経費が142,719千円あるため単価が高くなっている。

注2) 鎌倉市と逗子市は不燃ごみを直接埋立てていないため、1トン当たりの経費を算出していない。

注3) 海老名市、座間市、綾瀬市は、3市で「高座清掃施設組合」を構成し、各市で組合分担金を支出しているが、組合金分担金は中間処理費に分類している。